



「令和5年度女性研究者支援コンソーシアムあきた賞」表彰式を行いました



受賞記念撮影

前列左より秋田大学 金子氏/山本秋田大学長/秋田工業高等専門学校 ティラビ氏/秋田県立大学 木村氏

後列左より真鍋秋田大学理事/福田秋田県立大学長/斉藤秋田県産業技術センター所長/山名秋田大学男女共同参画推進室長



令和6年1月23日(火)秋田大学において、「令和5年度女性研究者支援コンソーシアムあきた賞」表彰式を執り行いました。

この賞は、本コンソーシアムを構成する各機関の女性研究者の研究活動に対するモチベーションを高めることを目的に、優れた成果や取組を顕彰する制度として、平成26年度に創設されました。

選考の結果、今年度は若手研究者学術研究部門に1名、若手研究者地域貢献部門に1名、ワークライフバランス部門に1名が表彰されました。

表彰式では、本コンソーシアム会長の山本秋田大学長から、「この表彰により、受賞者が今後益々活躍すること、そして、受賞者をロールモデルとして、次世代を担う女子中高生や大学生が研究者を目指し、『女性研究者支援コンソーシアムあきた』参画機関の更なる発展に寄与することを期待します。」と挨拶があり、被表彰者一人ひとりに表彰状と副賞が授与され、引き続き受賞記念講演が行われました。



受賞者紹介



若手研究者学術研究部門



秋田大学医学部附属病院
医員 金子 恵菜実 氏

若手研究者地域貢献部門



秋田工業高等専門学校
講師 ティラビ イビフ 氏

ワークライフバランス部門



秋田県立大学生物資源科学部
准教授 木村 恵 氏

「DNAミスマッチ修復機能障害を伴う子宮内膜癌において、MLH1プロモーター領域の高メチル化はより不良な予後を見出す」

「英語授業支援を通じた地域貢献－中学校とのオンライン英会話授業の効果検証」

「将来の利用に向けた地域の森林資源の保全と管理に関する研究」

北東北国立3大学連携推進会議連携協議会 男女共同参画シンポジウムを開催しました



開会挨拶をする
山本秋田大学長

令和6年1月18日(木)秋田大学において、オンラインによる、北東北国立3大学連携推進会議連携協議会 男女共同参画シンポジウム「キャリアの始まりを自分らしく！～女子中高生の理系進路選択から考える～」が開催されました。本シンポジウムは、平成22年度から弘前大学、岩手大学、秋田大学の3大学が毎年持ち回りで開催しているもので、今回は約110名が参加しました。

山本文雄秋田大学長から「北東北国立3大学において、女性研究者のすそ野拡大、ひいては、女子中高生の理工系学部への進学が課題となっている。文科省においても、「女子中高生の理系分野に対する興味関心を喚起し、教員や保護者の理系進路選択に関する理解促進を行う大学等の支援」について、重点的に取り組むひとつとして掲げている。

このような背景を踏まえ、今年度は、女子中高生の理系進路選択をテーマに開催し、北東北国立3大学の連携によるダイバーシティ推進が図られることを期待したい。」と開会の挨拶がありました。

第一部では、基調講演として、九州大学教授河野銀子氏を講師に迎え、「女子の理系進学を阻むさまざまな理由」と題し、女性の理系進学拡大については大学や学校におけるジェンダー平等に関する諸問題を解決するひとつの鍵であるとお話しされ、個人要因や環境要因などのデータ分析を基に、大学ができることはなにかについてお話しいただきました。

第二部として、弘前大学、岩手大学、秋田大学の3大学による意見交換会が行われました。弘前大学の藤崎浩幸男女共同参画推進室室長、岩手大学の喜多一美理事、秋田大学の真鍋雅文理事がパネリストとして、九州大学の河野銀子教授がコメンテーターとして、秋田大学の山名裕子男女共同参画推進室室長が司会として登壇し、「女子生徒の理系進路選択に関する大学の支援、ならびに今後の展望」をテーマに、各大学の取り組みや課題等について発言した後、活発な意見交換が行われ盛会のうちに終了しました。

終了後のアンケートでは、「基調講演での、市町村規模による意識の差などの話が興味深かった」「新たな視点を持つことができた」「理系へ進んでもらう為の様々な活動が各大学で個性的で良かった」などといった意見が寄せられました。



意見交換会の様子
下段左より、真鍋秋田大学理事、河野九州大学教授
上段左より、藤崎弘前大学男女共同参画室長、喜多岩手大学理事、山名秋田大学男女共同参画推進室長



教職員の意識調査実施のお知らせ

秋田大学教職員のワークライフバランス向上へ向けた環境改善の取組の参考にするためのものです。このアンケート結果などを踏まえ、具体的な改善策の検討・実施を行っていきます。

アンケートの結果は個人が特定できないような形で統計的に処理します。また自由記述についても、調査結果などに資料として記載する場合には、記載内容から個人が特定できないようにいたします。

アンケートはWEBアンケートです。実施時期が決まり次第、各部局へチラシ配布やAU-CISで周知いたしますので、ご協力をお願いいたします。



ことりのおへや 利用者の声

急性胃腸炎で保育園をお休みし利用させて頂きました。ふだんみて下さっている先生にみて頂くことが出来、子どももいつもと変わらず過ごすことができました。過ごしている時の様子も細やかに伝えてくださり、とても安心して預けることができました。ありがとうございました。

千秋保育園「ことりのおへや」電話018-836-2636



ココロニHPにバナーを追加しました

産婦人科医が教える
現代女性の必須科目
プレコンセプションケア

「プレコン」をご存じですか？
気になったら…
ココロニHPからアクセス！！

CLICK

@あきたでプレコン



発行：国立大学法人秋田大学男女共同参画推進室
〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
電話：018-889-2260
<https://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>

